

藤岡市教育委員会 教育支援センター「藤岡市にじの家」

□開設 平成14年4月1日
□所長職氏名 所長 佐藤 淳
□所在地 〒375-0024 藤岡市藤岡 963 番地 13
□電話・FAX TEL(0274)24-3222/FAX (0274)24-3222



1 運営の目的・趣旨

学校に登校できない児童生徒に対し、基本的生活習慣の改善・自立性の育成、社会性の育成等の相談・指導や教育相談を行い、自信をつけエネルギーを蓄え、社会的自立及び必要に応じてチャレンジ登校を進める。

2 職員の構成・分担

職 員	業 務 内 容
所長（学校教育課長）	1 総括
次長（嘱託）	1 生活指導全般 保護者カウンセリング
次長補佐（指導主事）	1 生活指導全般 渉外
指導員	2 通級者への指導 教育相談

3 入級対象及び令和6年度受け入れ状況

（1）入級対象者

藤岡市内の小・中学校に在籍する不登校または、不登校傾向の児童生徒で、本人及び保護者が入級を希望し、2週間程度の体験を通して通室が適切であると認められた者。

（2）受け入れ状況（令和6年度）

小学生 6名
中学生 16名 計24名

4 令和7年度の開設状況

（1）開設日時

学校の休業日を除く月曜日～金曜日
9：30～15：00

（2）開設期間

1学期 4月 7日～7月18日
2学期 8月29日～12月23日
3学期 1月 7日～3月26日

（3）日時程

時 間	内 容
9:30～10:00	・1日の活動計画作り
10:00～12:00	・学習・創作活動・読書等
12:00～13:00	・給食・休憩
13:00～14:45	・運動・野外活動 ・レクリエーション等
14:45～15:00	・まとめ

（4）主な行事予定（令和7年度）

月	行 事
4月	野菜の苗植え
5月 15日	びっくり体験村① (場所未定)
7月 10日	びっくり体験村② (場所未定)
7・8月	学期末お楽しみ会 保護者面談①
9月 17日	びっくり体験村③ (県立ぐんま天文台見学) (北毛青少年自然の家 等)
11月 11日	びっくり体験村④ (場所未定)
12月	学期末お楽しみ会 大掃除 保護者面談②
1月 19日	びっくり体験村⑤ (スキー教室)
3月	保護者面談③ じゃがいも植え 卒業・進級を祝う会

※レインボーカフェ 学期に一度開催
(保護者向け)

5 入級・退級の進め方

(1) 入級の手続き

- ①不登校児童生徒及び保護者に対して在籍校の校長が藤岡市にじの家を紹介する。または、本人及び保護者より藤岡市にじの家に通級したい旨を校長に申し出る。
- ②教育支援センターへの見学・相談。
- ③教育支援センターへの2週間程度の体験
- ④本人・保護者の入級の意思確認及び、学校と入級に関しての調整を行う。
- ⑤入級の決定。

(2) 退級の手続き

本人、保護者及び在籍校の校長と協議の上、藤岡市にじの家所長が退級について決定する。なお、退級後も学校や家庭と連携を図りながら相談活動等を行っていく。
※入級・退級共に、文書による手続きを行う。

6 学校、家庭及び関連機関との連携

(1) 学校との連携

在籍している学校に対して、児童生徒の出席状況、具体的な指導援助事項、変容の様子、生活の様子などを月例報告として送付している。また、学校訪問や電話連絡により、児童生徒の状況について共通理解し、学校と藤岡市にじの家の指導の方針を決めている。

担任や相談員に空き時間を利用してにじの家に来てもらい、連携を図ると共に、にじの家で児童生徒に関わりをもってもらっている。特に、学校行事への参加や学校復帰への意思が見られるときは、どのような手立てで学校に受け入れてもらうか、十分に連携を図るようにしている。

(2) 家庭との連携

随時教育相談を受け入れ、保護者の気持ちの安定を図ると共に、子どもの変容についての情報交換を行っている。また、希望があれば、適応指導支援員との面談を行い、より専門的な立場からの助言を行っている。

(3) 関連機関との連携

不登校の要因に応じて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、児童相談所、子ども課、専門医、青少年センター等と連携を図り、問題の解決にあたっている。

7 特色ある活動（自然体験活動）

不登校または不登校傾向の児童生徒に対して、豊かな自然体験や共同生活体験を主にした体験活動を実施することにより、社会性の育成、対人関係能力や集団生活への適応能力の向上を図るとともに、自立を促す。

○体験から学ぶ

何事も体験することを重視し、自分自身の力で成し遂げた成就感を味わうとともに、失敗からも学ぶことを身につける。

○助け合うことの大切さを学ぶ

共同生活を通して助け合うことの楽しさや喜びを体験する。また、生活の中で起こり得る様々な困難や問題をみんなで力を合わせて解決し、協調性を身につける。

○自主性と責任感を育てる

自分の生活にかかわることは自分で行なうとともに、自分の役割を果たそうとする責任感を育てる。

○自己理解を深める

自然の中での体験を通して、自分にできること、新たに身につけたこと、友達にも教えられること等、自己理解を深め、自信をもたせる。

令和6年度びっくり体験村（5回）

- ・少林山（達磨絵付け体験等）
- ・フォレストアドベンチャー（アスレチック体験）
- ・北毛青少年自然の家（ハイキング・サンドブラスト体験）
- ・桐生織物参考館“紫”（藍染体験）
- ・佐久スキーガーデンパラダ（スキ一体験）

藍染め体験



アスレチック体験